

# 学校と家庭・地域“絆”でつくる放課後学習会 ～ 広島県 広島市立高取北中学校 ～

# 学クラ新聞

第15号



パソコン教室で印刷したプリントを  
図書室で学習している様子



パソコン教室で  
生徒一人ひとりが主体的に  
プリントを印刷している様子

広島市教育委員会では平成二十四年より、まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト事業が、学校と家庭・地域の連携・協力による「まちぐるみの教育」の充実・強化を目的に実施されています。事業内容としては「家庭・地域による教育支援活動」と「学校による地域貢献活動」があり、教育支援活動の一つとして行われている放課後における学習支援の場で『みんなの学習クラブ』が活用されています。今回は、高取北中学校での放課後学習会の取り組みについてご紹介します。

## まちぐるみ『教育の絆』プロジェクト 概要

市内中学校の『学校協力者会議』に事業を委託し、学校と家庭・地域をつなぐ、さまざまな活動を行っています。『学校協力者会議』の『学校支援・地域貢献部会』に配置し、コーディネーター(元教員、元PTA会長、地域ふれあい協議会会長など)を中心に教育支援活動と地域貢献活動を行います。地域貢献活動では、生徒が地域の人と一緒に清掃活動などを行っています。

家庭・地域による教育支援活動の一つとして、週に一度以上、放課後における学習支援を実施しています。



## 【高取北中学校 放課後学習会〈絆学習会〉開催概要】

開催日 毎週水曜日(部活動の休養日)・テスト週間  
運営 先生・コーディネーター・サポーター(常時3名～4名)  
開催場所 パソコン教室・図書室・教室

パソコン教室では、『みんなの学習クラブ』を使って生徒が主体的にプリントを印刷します。パソコンに詳しい先生がログインしたり、生徒自身がログインしたりします。

図書室では、印刷したプリントなどで、それぞれの学習を進めます。サポーターの方が励ましてくれたり、先生がわからない時に教えてくれたりします。



図書室



PC教室



教室

放課後学習会には、常時30名～40名の生徒が参加しています。テスト前には人数がさらに多くなるので、近くの教室も開放することがあります。

# 生徒が参加したくなる工夫

## ◆案内や呼びかけ

玄関の近くや図書室の前には、放課後学習会についての内容を貼り出しています。学校通信でも定期的に様子を紹介し、生徒や保護者に向けて案内を行っています。先生方からも授業やクラスで生徒へ参加を呼びかけています。



絆学習の特長を写真とともに掲示しています

## ◆絆学習カード (学習会シールラリー)

図書室に放課後学習会用の参加カード(絆学習カード)があり、参加した生徒は毎回シールを貼っていきます。1枚目は白、2枚目は赤、3枚目は青、4枚目は緑というように1枚に10回分シールがたまると、台紙の色が変わっていきます。生徒も、他の生徒の参加カードの色を意識し、継続して参加するきっかけになっています。



枚数を重ねるごとに色が変わっていきます

## ◆表彰

前期、後期の終業式で、たくさん放課後学習会に来た生徒を学年で1名ずつ全校生徒の前で表彰しています。皆勤賞の生徒もいます。



手書きのキャラクターが描かれた絆学習カード

参加シールをもらい、集めていくことがうれしく、放課後学習会に来る動機となっている生徒もいますが、一方で、シールはいらぬという生徒やみんなの前で表彰されることに抵抗のある生徒もいます。それぞれの生徒のニーズに合わせてクラスで表彰を行うなどして対応することもあります。

# 居心地のよい学習空間をつくるコツ

## ●学習面のサポートと学習のルールづくり

「先生や教えることが得意なサポーター」

パソコン教室では、パソコンの得意な先生が支援を行い、図書室では、先生や教えることが得意なサポーターがわからない時に教えてくれます。また、放課後学習会の初日に、生徒に学習のルールをしっかり共有しました。

●放課後学習会は学習する空間であること

●どの生徒も学習しやすいように協力すること

生徒は、パソコン教室でも図書室でも、ほどよい声のボリュームで話し、学習しやすい空間となっています。

## ●生徒の相談や励まし、居場所づくり

「『ナナメの関係』である地域の方」

当初、サポーターの中には、生徒に教科の学習を教えることに不安を持ち、役割やかかわり方に悩む方もいらっしゃいましたが、親でも先生でもない『ナナメの関係』を意識することで、相談に乗ったり、励ましの声をかけたりしながら生徒との関係性を築いていきました。

今では地域の方の存在で、放課後学習会の場が安心安全なオアシスのような「居場所」になっています。



わからない時に教えてくれる先生やサポーター



励ましてくれたり、悩みをきいてくれるサポーター

## ◆生徒の変化

高取北中学校では、生徒の家庭学習時間が非常に短く、自主的に学習に向かう意識を高めることが課題でした。放課後学習会を始めてからは、生徒どうして「残って勉強していく?」という会話も多くなり、宿題以外の学習にも取り組む生徒が増えました。以前は適当な自習課題がないからと、宿題を終えたら帰る生徒もいましたが、最近では「みんなの学習クラブ」で問題作っておいで」というサポーターの声かけで、残って自習する生徒が増えてきました。すぐ成績に反映されないことも多いですが、生徒の自己肯定感は少しずつ上がってきています。